

令和2年度 クリーニング師試験（学科試験）

（令和3年2月5日実施）

試験時間：午前9時40分～午前11時00分(80分)

【注意事項】

- ◎ 指示があるまで開いてはいけません。
- ◎ 解答用紙には、氏名・受験番号を記入してください。
- ◎ 解答は、問題の指示に従い、解答用紙に記入してください。
- ◎ 問題の内容についての質問には、お答えできません。

受験番号

福 井 県

1 衛生法規に関する知識

問1 次の文は、クリーニング業法および同法施行規則に基づくクリーニング師に関する記述である。文中の空欄①～⑥に入る語句を、下の語群の中からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 営業者は、クリーニング所（洗たく物の受取及び引渡のみを行うものを除く。）ごとに、(①) クリーニング師を置かなければならない。
- (2) クリーニング師の免許を受けようとする者は、クリーニング師試験合格地の(②) に申請しなければならない。
- (3) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、(③) 以内に、免許証の訂正の申請を、免許を与えた(②) にしなければならない。
- (4) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後(④) 以内に、クリーニング師の資質の向上を図るための(⑤) を受けなければならない。
- (5) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して(⑥) 以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

(語群)

ア：1人以上の	イ：2人以上の	ウ：3人以上の	エ：生活衛生同業組合
オ：地方厚生局長	カ：都道府県知事	キ：10日	ク：1週間
ケ：2週間	コ：1月	サ：1年	シ：試験
ス：検査	セ：研修	ソ：罰金	タ：禁固

問2 次の文は、クリーニング業法に基づく営業者の衛生措置に関する記述である。文中の空欄①～⑥に入る語句を、下の語群の中からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所及び(①)並びに業務用の機械及び(②)を清潔に保つこと。
- (2) 洗濯物を洗濯又は(③)を終わったものと終わらないものに区分しておくこと。
- (3) 洗濯物をその(④)に応じ区分して処理すること。
- (4) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとして(⑤)で指定する洗濯物は、他の洗濯物と区分しておき、これを洗濯するときは、その前に(⑥)すること。

(語群)

ア：生活環境	イ：公衆衛生	ウ：業務用の車両	エ：作業衣
オ：器具	カ：漂白	キ：仕上げ	ク：用途
ケ：素材	コ：日本国憲法	サ：厚生労働省令	シ：条例
ス：洗浄	セ：脱水	ソ：届出	タ：消毒

問3 次の(1)～(5)について、クリーニング所の届出に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所を開設しようとする者は、あらかじめ市町村長にその旨を届け出なければならない。
- (2) クリーニング所の従事者数に変更があった場合の届出は不要である。
- (3) クリーニング所を廃止したときは、都道府県知事にその旨を届け出なければならない。
- (4) クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、営業方法、従事者数その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- (5) 営業者は、そのクリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、その構造設備がクリーニング業法の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。

問4 次の(1)～(3)について、洗濯物の受取及び引渡しをする際に利用者に明示する苦情の申出先に関する掲示事項として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所の名称及び所在地
- (2) クリーニング所の開設許可証
- (3) クリーニング所の電話番号

問5 次の文は、クリーニング業法第2条に規定するクリーニング業の定義に関する記述である。下表のア～ウのうち、文中の空欄①～③に入る語句の組み合わせとして、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

第2条 この法律で「クリーニング業」とは、溶剤又は(①)を使用して、衣類その他の(②)又は皮革製品を(③)洗たくすることを営業とすることをいう。

	①	②	③
ア	漂白剤	繊維製品	解体して
イ	洗剤	繊維製品	原型のまま
ウ	洗剤	家庭用品	消毒して

問6 次のア～ウのうち、クリーニング師の免許に関する記述として、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 免許申請の際に添付する書類として、戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地の記載された住民票の写しが必要である。
- イ クリーニング師の免許申請は、試験合格の通知を受け取った日から3年以内に行わなくてはならない。
- ウ クリーニング師の免許は、交付を受けた都道府県でのみ有効である。

問7 次のア～ウのうち、営業者が講じなければならない衛生措置等に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗濯物の処理を行い、又は行わせてはならない。
- イ 洗場については、床を不浸透性材料で築造し、これに適当な勾配と排水口を設けなければならない。
- ウ 脱水機の効用をも有する洗濯機を備える場合でも、別に専用の洗濯機と脱水機をそれぞれ少なくとも一台ずつ備えなければならない。

問8 次のア～ウのうち、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして特別な取扱いを要する指定洗濯物に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 病院で医療従事者が使用した白衣は指定洗濯物に該当する。
- イ 公衆浴場で客が使用したタオルは指定洗濯物に該当する。
- ウ 指定洗濯物を洗濯するときの具体的な処理方法は、通知や指導基準として示されており、例えば、医療機関におけるリネンについては、医療法における病院寝具類の洗濯業務の委託に関する規定がある。

問9 次のア～ウのうち、「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 生活衛生同業組合は、政令で定める業種ごとに組織することができる。
- イ 生活衛生同業組合は、業種ごとに「振興計画」を作成し、厚生労働大臣の認定を受けなければならない。
- ウ 生活衛生同業組合は、営利を目的としないものでなければならず、組合員の加入は任意である。

2 公衆衛生に関する知識

問1 次の文は、日本国憲法第25条に規定する生存権に関する記述である。文中の空欄①～⑤に入る語句を、下の語群の中からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

すべて国民は、(①)で文化的な最低限度の生活を営む(②)を有する。
 (③)は、すべての生活部面について、社会福祉、(④)及び公衆衛生の向上及び(⑤)に努めなければならない。

(語群)

ア：平和	イ：健康	ウ：自由	エ：福祉
オ：権利	カ：国	キ：地方公共団体	ク：企業
ケ：社会保障	コ：社会保険	サ：福利厚生	シ：維持
ス：増進	セ：推奨	ソ：広報	

問2 次の文は、ウインスローの公衆衛生の定義に関する記述である。文中の空欄①～⑤に入る語句を、下の語群の中からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

公衆衛生とは、(①)の組織的な努力を通じて、(②)を予防し、(③)を延長し、肉体的、精神的健康と(④)の増進を図る科学であり(⑤)である。

(語群)

ア：共同社会	イ：管理社会	ウ：地方公共団体	エ：肥満
オ：災害	カ：疾病	キ：寿命	ク：能率
ケ：目的	コ：利益	サ：文化	シ：技術

問3 次のA群に列記した疾患①～⑤に最も関係の深いものをB群からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(A群)

① 狂犬病
② 結核
③ 日本脳炎
④ インフルエンザ
⑤ 水俣病

(B群)

ア 飛沫感染
イ 飛沫核感染(空気感染)
ウ 水系感染症
エ 咬傷
オ マダニ
カ ツツガムシ
キ 蚊
ク カドミウム
ケ 有機水銀

問4 次の(1)～(3)について、ノロウイルスに係るおう吐物やふん便が布団などのリネン類に付着した場合の消毒方法に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 下洗いの際には、炭酸水素ナトリウム(重曹)が1,000ppm以上になるようにして消毒する。
- (2) 下洗いしたリネン類の消毒は、85℃・1分間以上又は80℃・10分間以上の熱水洗濯が適している。
- (3) 布団などすぐに洗濯できない場合は、表面の汚物をペーパータオル等で取り除いた後、布団乾燥機を使い、室内で乾燥させる。

問5 次の(1)～(3)について、クリーニング所における環境保全に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 大気汚染防止法に基づき、全てのクリーニング所は揮発性有機化合物排出施設(VOC排出施設)として規制されている。
- (2) 洗たく業の用に供する洗浄施設は、水質汚濁防止法に基づく特定施設に該当し、自治体への届出が必要である。
- (3) 省資源化の取組みとして提唱される「3R(スリーアール)」とは、リデュース(廃棄物の発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)であるが、これにリヒューズ(買わない・断る)を加えて、4Rとすることもある。

問6 次のア～ウのうち、感染症対策に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 感染拡大の原因が主に経口感染である感染症については、手洗いが予防策として効果がある。
- イ インフルエンザの予防接種は、接種を受けたその日から効果がある。
- ウ 空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなるため、加湿器などを使い適切な湿度を保つことが有効である。

問7 次のア～ウのうち、食中毒に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 平成30年の食中毒統計によれば、病因物質別患者数はノロウイルスが最も多い。
- イ 食中毒の原因としては、細菌やウイルスのほか、自然毒や寄生虫などが原因となることもある。
- ウ ノロウイルスによる食中毒は手指を通して感染することはないため、患者のおう吐物やふん便による二次感染のおそれはない。

問8 次のア～ウのうち、廃棄物に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 産業廃棄物の不法投棄を防止するため、その処理を産業廃棄物収集運搬業者または処分業者に委託する場合、引渡しの際にマニフェスト（産業廃棄物管理票）の交付が義務付けられている。
- イ PRTR制度は、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく環境汚染物質の排出移動登録制度のことであり、第1種指定化学物質を環境中に排出又は廃棄物等として事業所外に移動させた場合は、事業所の規模や取扱量によらず、全ての事業者が届出しなければならない。
- ウ 一般廃棄物、産業廃棄物のうち、爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物を特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物として区分し、通常の廃棄物よりも厳しい規制を行っている。

問9 次のア～ウのうち、オゾン層に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 日本では、フロン類が大気中へ排出されることを抑制する法律が施行されており、フロン類の製造から廃棄までのライフサイクル全体にわたる包括的な対策が行われている。
- イ オゾン層は、太陽光に含まれている有害な紫外線を吸収し、地上の生態系を保護している。
- ウ オゾン層は、フロン類の使用をやめることで破壊されなくなり、短期間で元に戻る。

3 洗たく物の処理に関する知識

問1 次の文章について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 天然繊維は大きく分けて植物繊維と無機繊維に分けられる。
- (2) 衣料品の素材として幅広く使われている天然繊維で、吸湿・吸水性、保温性、耐熱性に優れた繊維は綿である。
- (3) ポリエステルは化学繊維で最も用いられ、強度、耐熱性、耐光性、速乾性に優れている。
- (4) 糸がたてよこ直交していて伸縮性があるのはニットである。
- (5) ニットはドレープ性があるため、ワイシャツやスーツなどには用いられることが少ない。
- (6) プリント加工された製品は摩擦に強いので、もみ洗いをしてタンブラー乾燥を行う。
- (7) 毛皮製品のクリーニングはランドリーで行われる。
- (8) ランドリーはウェットクリーニングに比べ洗浄作用が強く、強い汚れに適している。
- (9) 皮革製品は熱に弱いのでウェットクリーニングで行う。
- (10) 国内で使用されるドライクリーニング溶剤の多くは石油系溶剤である。

問2 次の文章の（ ）に該当する語句を下から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 絹の外観に似せて人工的に作られた、長繊維の糸は（ ）である。
- (2) 強度、弾性率が高いが、日光で黄変するなど経時変化に弱い繊維は（ ）である。
- (3) 繊維製品の染色工程の大きな流れは、精練、（ ）、染色、後処理である。
- (4) 織物や編物の表面に長いパイルを持たせ天然の毛皮に似せたものを（ ）という。
- (5) ランドリー工程における乾燥は一般的に（ ）を使う。
- (6) ランドリーで主に使用される漂白剤は（ ）と過炭酸ナトリウムである。
- (7) シミには大きく分けると次の3つがある。（ ）、水溶性、不溶性。
- (8) ドライクリーニングの溶剤として使われている合成系の溶剤は（ ）である。
- (9) カーペットのクリーニング方法には、丸洗い、（ ）、ドライクリーニングの3つがある。
- (10) シミ抜きに用いるアンモニア、過酸化水素、（ ）は危険性のある薬品であり、毒物及び劇物取締法に該当する。

- | | | | |
|----------|-------------|-----------|-------------|
| ①人工皮革 | ②ナイロン | ③漂白 | ④テトラヒドロフラン |
| ⑤ビニロン | ⑥ドライ機 | ⑦酸性 | ⑧フッ化水素 |
| ⑨シャンプー洗い | ⑩ベンゼン | ⑪フッ化塩素 | ⑫レーヨン |
| ⑬油性 | ⑭水酸化ナトリウム | ⑮アセトン | ⑯テトラクロロエチレン |
| ⑰ブラシ洗い | ⑱次亜塩素酸ナトリウム | ⑲コーティング | ⑳人工毛皮 |
| ㉑アルカリ性 | ㉒ポリエステル | ㉓タンブラー乾燥機 | ㉔樹脂 |

問3 次の文章の（ ）に該当する数値を下から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 糸の太さを表すデニールは、()m当たりの糸の太さが1gであるものを1デニールという。
- (2) 毛素材製品のアイロンによる標準仕上げ温度は、150～()℃である。
- (3) ポリエステル製品のアイロンによる標準仕上げ温度は、()～130℃である。
- (4) ランドリー用水の適正pH値は、()～8.6である。
- (5) ドライ仕上げの最適蒸気圧は、()Mpaである。
- (6) 毛皮の最適保管湿度は、45～()%である。
- (7) ランドリーの洗い工程の水深は、3～()度が適当である。
- (8) ランドリー用水内のカルシウムやマグネシウムの水溶性塩は、衣料を灰色化させる原因となるので、成分は、()ppm以下が望ましい。
- (9) 石油系ドライ機における溶剤の温度は、()℃を超えないようにして洗浄する。
- (10) テトラクロロエチレン系ドライクリーニング機を扱う労働者について、1カ月を超えない期間ごとに労働者氏名、従事した作業概要、従事期間等を記録し()年間保存しなければならない。

①0.1	②0.5	③0.7	④3	⑤4	⑥5.8	⑦6
⑧6.8	⑨20	⑩30	⑪35	⑫50	⑬60	⑭90
⑮110	⑯120	⑰160	⑱180	⑲10000	⑳9000	

問4 次の記号は繊維製品の取扱いに関する記号である。それぞれの記号の説明として正しい方を解答欄に記入しなさい。

(1)		① 業務用機器での洗濯禁止 ② 家庭での洗濯禁止
(2)		① 液温は 60℃を限度とし、洗濯機で弱い処理ができる。 ② 液温は 60℃を限度とし、手洗いができる。
(3)		① 乾燥処理記号 ② 漂白処理記号
(4)		① 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。 ② 自然乾燥をせず乾燥機を用い、乾燥機の仕上げ温度を 200℃以下とする。
(5)		① 日陰のぬれ平干し自然乾燥がよい。 ② タンブル乾燥ができる(排気温度上限 80℃)。
(6)		① 平干し乾燥がよい。 ② ぬれつり干し乾燥がよい。
(7)		① 洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。 ② 漂白処理後は自然乾燥処理をおこなう。
(8)		① ウェットクリーニングができない。 ② ドライクリーニングができない。
(9)		① パークロロエチレン及び石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる。 ② 石油系溶剤による弱いウェットクリーニングができる。
(10)		① 底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。 ② 底面温度 110℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

問5 次の文章について、正しい方を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニングにおいて、水で収縮しやすく、毛羽立ちやすく摩擦に弱い繊維はどれか。
①毛 ②レーヨン ③アクリル
- (2) クリーニングにおいて、染色堅牢度不足により変退色や移染、日光と汗の複合による変退色などのトラブルが発生することがある繊維はどれか。
①麻 ②レーヨン ③綿
- (3) 繊維製品の外観加工において、布表面に折り目をつける加工を何というか。
①起毛加工 ②プリーツ加工 ③エンボス加工
- (4) 漂白剤や蛍光増白剤を用いるときに注意しなければならない染色品はどれか。
①プリント加工製品 ②強撚糸加工製品 ③生成り製品
- (5) ドライクリーニングにおける「チャージシステム」であらかじめドライ溶剤に添加しておくものはどれか。
①ドライソープ ②メタ珪酸ナトリウム ③コーンパウダー
- (6) 皮革製品の性質で正しいのはどれか。
①染色堅牢度が強く、クリーニングでは脱色しない。
②汚れ、シミが深部まで浸透しにくく落ち易い。
③熱に弱く高熱を受けると硬化収縮する。
- (7) 漂白剤としての過炭酸ナトリウムの使用上の注意点として正しいものはどれか。
①40℃以上で効果を発揮する。緩やかに分解するので生地を傷めることが少ない。
②絹、毛、ナイロン、ポリウレタンなどに適し、綿、麻などのセルロース系繊維には適さない。
③標準使用量は、1リットルあたり2g以下とする。
- (8) ランドリーとドライクリーニングの特徴の比較で正しいものはどれか。
①ランドリーは衣類の型崩れ・収縮が小さいが、ドライクリーニングは大きい。
②ランドリーは高温に耐えられる素材しかできないが、ドライクリーニングはほとんどの衣料が対象となる。
③ランドリーは風合い変化が小さいが、ドライクリーニングは大きい。
- (9) ドライクリーニング溶剤としてのテトラクロロエチレンの取り扱い上の注意点として正しいものはどれか。
①引火性で、消防法や建築基準法の規制を受ける。
②化審法*の第2種特定化学物質に指定されており、取り扱いや環境保全対策が必要。
③指定数量の5分の1以上、指定数量未満の貯蔵、取扱いは届け出を要す。
※化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
- (10) ドライクリーニング溶剤の洗浄性について正しいものはどれか。
①溶剤の比重が小さいほど、たたき洗い効果が小さく、衣類を傷めない。
②溶剤の粘度が大きいほど衣料に浸透しやすく、きれいに洗える。
③溶剤の水の溶解度が小さいほど、水溶性の汚れの洗浄に効果的である。

令和2年度クリーニング師試験 【解答】

受験番号	氏名

1 衛生法規に関する知識 (25問)

問1					
①	②	③	④	⑤	⑥
ア	カ	キ	サ	セ	ソ

問2					
①	②	③	④	⑤	⑥
ウ	オ	キ	ク	サ	タ

問3				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	×	○	○	○

問4			問5	問6	問7	問8	問9
(1)	(2)	(3)	イ	ア	ウ	ア	イ
○	×	○					

2 公衆衛生に関する知識 (25問)

問1					問2				
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
イ	オ	カ	ケ	ス	ア	カ	キ	ク	シ

問3				
①	②	③	④	⑤
エ	イ	キ	ア	ケ

問4			問5			問6	問7	問8	問9
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	イ	ウ	イ	ウ
×	○	×	×	○	○				

令和2年度クリーニング師試験 解答用紙

受験番号	氏名

3 洗濯物の処理に関する知識(50問)

問1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	○	×	○	×	×	○	×	○

問2

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
12	2	3	20	23
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
18	13	16	9	8

問3

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
20	17	16	6	2
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
12	5	14	11	10

問4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
2	1	2	1	2	2	1	1	1	2

問5

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
1	3	2	3	1	3	1	2	2	1